



救急隊活動にご理解とご協力を

私たち救急隊は、スムーズな救急活動を心掛けておりますが、応急処置が必要な場合など傷病者の容態によっては現場での処置が「早い搬送」より優先されることがあります。



例えば…

・交通事故、転落事故等は

⇒ 外傷に対する止血処置のほかに、強い衝撃を受けた脊髄を保護するため、また後遺症をできるだけ残さないために、現場で板状の搬送器具に全身固定を施します。

・心肺停止状態の患者さまには

⇒ 現場で早急に胸骨圧迫、人工呼吸、必要に応じてAEDによる電気ショックを行います。また救急救命士は電話で医師の指示を受け、必要に応じてチューブを使った気道確保や静脈路確保（点滴）を施した後、心臓を強く動かすための薬「アドレナリン」を投与します。

患者さまの救命はもとより、社会復帰につなげるため、現場に滞在する時間を要することがありますが、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

また、現場で人手が必要なとき、搬出が困難であるとき、ならびにドクターヘリを使った搬送の際は、救急車のほかに消防車も出動することがありますので重ねてお願い申し上げます。

交差点の安全確認!!

確認方法間違っていないですか？



① 見通しの悪いT字路交差点で、カーブミラーに何も映っていないから安全といって右折・左折していませんか？

危険回避の方法！

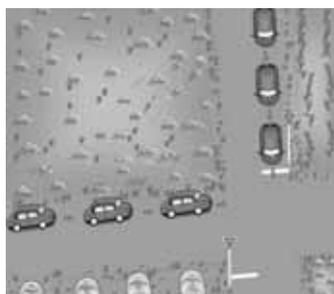
カーブミラーには死角（映らない部分）があります。カーブミラーのみに頼らず交差点の手前で必ず一時停止をし、自分の目で安全確認をしましょう。

② 交通量の少ない、通り慣れた交差点を左折する場合、ミラーのみに頼って左折していませんか？

危険回避の方法！

通り慣れた道路でも油断は禁物です。車のサイド・ルームミラーのみに頼らず顔を左後方に向け自分の目で確実に安全確認をしてください。

早めの合図とできる限り道路の左端に寄ることも忘れないでください。



③ 見通しのよい十字路交差点で、交差道路から進行してくる車があるのに、先に行けると思い、そのまま通過していませんか？

危険回避の方法！

一時停止の規制があれば、見通しがよくても必ず一時停止をしなければいけません。たとえ自車進路が優先道路であっても、交差点は安全に進行するという義務があります。相手が止まらないかもしれないと考え、減速や徐行、時には一時停止することも必要です。